

# Let's Go Steady with Computer Technology

## (2) How to use a word processor for research

保崎 則雄

ワープロを研究に使用する人は年々増え続けているが、どうも便利なタイプライターとしてのみ捉えている人が語学研究教育の分野でも多いようである。それほど安くないワープロであるので、出来るだけ多くの研究利用があれば、それにこしたことはない。ここでは記憶力を持ったタイプライターを越えた利用の仕方を考えてみたい。

ワープロを取り巻く研究には、たとえば次のようなものが含まれる。

- 1) ワープロを被験者に一定期間使用させ、書かせた文章（日本語、英語）を計量分析し、その効果を調べる研究。
- 2) ワープロを被験者に一定期間使用させ、書かせた文章を言語学的（語用、文体、句読など）に分析し、ワープロの影響を調べる研究。
- 3) 被験者のワープロ一定期間使用による、日、英作文に関する態度の変化を調べる研究。
- 4) 異なった認知型（現在までに19の型が分析されている）を持つ学習者にワープロ操作を教え、どの点で学習に困難をきたすか調べ、要因を考察する研究。
- 5) ワープロ使用による漢字の忘却率/学習率を

調べる研究。

現在までに行なわれたり、行なわれうる研究として興味深そうなのは以上のようなものであろうが、これらの研究を日本語学習者、あるいは、中国語のような分野に広げてみるということが考えられる。実用面では私の知るかぎりでも、ワープロを利用している日本語学習者はいる。日本語はその音が分かれば、かなレベルではかなり正確に表記できるという特徴がある所以である。ただ、基礎研究面では、如何にせんデータベース、知識ベースの量が少なすぎて、研究成果が一般化できないという状況である。日本語のワープロには漢字/カナ変換という英語圏のワープロにはない特徴があり、またそれが研究の対象になりうる。この点に注目した研究も更に発展しうるだろう。

簡易タイプライターをいままで持たなかった日本文化はワープロの出現、普及によって言語教育のみならず、コミュニケーションの分野でも画期的な時期を迎えていることを合わせて考えれば、更に学際的に人類学、社会学、心理学からのアプローチも更に発展しうるのではなかろうか。

### ☆ お知らせ ☆

#### 92神奈川大学語学教養講座

1. 開講期間 1992年2月24日（月）  
～3月6日（金）  
（土・日を除く10回）
2. 主催および会場 神奈川大学  
言語研究センター
3. 開講講座名 ① 英語講座（語学）  
② 英語講座（教養）  
③ スペイン語講座

- ④ 中国語講座
- ⑤ ドイツ語講座
- ⑥ フランス語講座
- ⑦ ロシア語講座
- ⑧ 朝鮮語  
（ただし講座名は仮名）

4. 講師 神奈川大学外国語学部教員  
（非常勤講師を含む）
5. 募集対象 社会人（大学生・高校生も可）
6. 募集人数 各講座 20名